

2023年度 第3回定例理事会議事録

日時:2023年5月18日(木) 15:00-17:00

場所: ピアマリン1階 日本人会ミーティングルーム (Web参加あり)

会議出席者:(理事) 権田、時任、伊藤敏江、冨江、久住、長藤、スミス、渡辺・ドミンゴ、山浦、野口、山口、伊藤慎太郎、井上、今津

※リモート参加 須永、ペレス、渡辺奈々

欠席者: デリゲイン

傍聴: 事務局2名

議題:

1. 2023年度活動計画並び予算案報告
 - (1) 教育部
 - (2) 青年部
 - (3) 文化・商工部
 - (4) 渉外広報部
 - (5) 総務部
 - (6) 会計部
2. 総領事館より
3. その他

(権田会長からご挨拶)

今日の理事会では各部から活動計画を報告をして頂き、来年までのスケジュールが決まりますのでよろしくお願いします。

(尾形首席領事よりご挨拶)

日本政府もアメリカ政府も水際措置の終わりを決定し、一つの時を画する時が今月だと思う。徐々に通常の生活が戻ってくる中、2つ申し上げたい。1つは日本人会は総領事館の同士であり、私も共同して日本とグアムのために協力していきたいと思う。2つ目は安全と治安についてです。コロナ前は感覚的に夜は出歩かないとか K マートの前の坂を一人で歩かないなどがあったと思うが、忘れがちなことなのでもう一度思い出して日常に注意をして頂きたい。新しくグアムに来られた方には教えて頂きたい。日本人旅行者が徐々に増えるとトラブルに巻き込まれることもあると思うが、日本人会理事にはそのような方にもアドバイスをして頂きたい。s

(野口総務部長)

2023年度活動計画と予算案について各部から報告をして頂く。今日で承認される部会についてはその計画に向かって進めて頂き、来月以降はその進捗状況について報告して頂く。また、今日の報告

が暫定的なもので承認にまで至らないということであれば、来月以降に計画並びに予算の説明をしていただき承認を得るようにして頂きたい。

(渉外広報部)山口部長

昨年度、新しくウェブサイト構築し、活動を開始したところである。去年は一年かけてどのような方向性でやっていくことで、会員にとって有益な情報を発信できるのか、ということに焦点を置いていた。現在は会員からも情報が得られるようになり、定期的に発信できるようになってきたのでこれを継続したい。今年目標としては、グアムに新たにきた方から長くグアムに根付いてこられた方まで在住歴にかかわらず、必要な情報を必要な時に提供できるような広報部でありたいと考えている。今年の課題は SNS の使い方、またウェブサイトの広告スペースに空きがあるので広告を出稿したいという法人が増えるよう努力する。

予算についてはレンタルサーバー費用として年間 \$ 350 と \$ 90 を計上。3番と4番の日本人会主催行事販促とホームページ・記事調査費については去年の予算をそのまま計上しているが、実際には去年は支出はなかった。5番の秋祭り宣伝広告として PDN/POST/S&S に対して \$ 4,000 実際には支払った金額と同額で計上。6番のホームページ広告掲載費用は今後の活動のひとつとして企業からの広告掲載を見込んで \$ 500 を収入として計上。以上。

〈質疑応答〉

・インスタグラム、フェイスブックについては費用は特に発生しないのか？

→費用は発生しない。日本人会理事が参加する予定のイベントの中で広告を出稿する場合は広告費が発生するがそれを3番のイベント宣伝で計上している。

・現在、広告出稿があるのはヒルトンだけか？去年はもう少し増える見込みだったが、増えなかった理由は広告の料金が高いからか？ラッテでは1スペース \$ 50 だったと思うが？

→無料でも募集したが、広告には至らなかった。今年は広告パッケージなどを作って企業に案内する。ラッテでは50ドルだったが、現在は \$ 10 で募集している。

→現在、空きがある部分については有料のお客様からの利用があるまでは理事が所属している企業でもしよければ使って頂くことができる。

・事務局からのアップデートのお知らせの一番下にリンクを張ってそこから広告ページに飛ぶような形が良いのでは？

→一覧にして案内する。

→広告料の10ドルという料金について周知する

(青年部)富江部長

基本的な考え方は昨年度と同様だが、今年に関しても規模、質で上回るものを作りたい。また、3番目として「グアム日本人会の知名度をグアム島内外にアピールし、グアムでの日本人コミュニティの発展と地域との共生を推進すること」を追加した。運営についても去年と同じ。去年のこの時点で予算としては収入9万ドル、支出7万ドル、収支プラス2万ドルという計画だった。今年に関しては収入17万

5千、支出15万ドル、収支2万5千ドルいうのをたたき台としてやりたい。去年の実績は27万9千ドルの売上で、過去の平均より7万ドルほど上回っている。去年はスポンサーフィーが過去の実績を大きく上回っていることとマグロのブースについて日本政府からの補助があり、規模が大きくなっている。考え方としては去年の予算は上回るが、去年は規模に関しては3年ぶりにやった反動があるかも知れないので今年は少し抑えめにしている。費用に関しては去年より控えめにした収入に対して固定費は同額を見込む。ポイントは寄付をどれくらい集めることができるかであり、それをどう運営に生かして日本人学校に還元できるか。何らかの形で去年を超えたい。規模の拡大または維持に関して、決して縮小は考えていない。これに関しては、去年は交通混雑もひどく、今年はもう少しこじんまりとやった方がよいという考え方もある。または以前は2時から開始していたものを4時からに変更したことで、より集中してしまったから時間を延ばした方がよいのではなど、今決めないと方向性がぶれてしまうもの、もう少し後で決めても良いものがあると思う。皆の意見を規模という観点から意見を伺って修正していきたい。

担当振り分け案の用紙を配るが、まだ相談役など承諾を得ていないものもあるのでコンフィデンシャルとする。担当振り分けは12個に分けてある。理事の経験等を考慮して作成。これについてもご意見を伺って決めたい。全体の工程表も配布。こちらのスケジュール表に合わせて進めていく。以上。

〈質疑応答〉

・富江部長から説明があった通り、規模感について去年は3年ぶりの秋祭りだったので2019年に比べて3分の2程度のスタートで最初の9万ドルの予算組をしている。今回はその数字と去年の実績の間を取った形になっている。収支がプラスになるかどうかは客からの収益で賄えるものではなく、寄付がどれだけ集まるかにかかっている。

・担当振り分けについて須永さんはボランティアのメインを担当して頂き、ドリンクはどなたかにメインを担当して頂く。物販のメインは久住さん。設営のメインは長藤さん。

・ペレズさんより一期目だが、企画・進行・内外関係団体関係メイン担当で大丈夫か？

→サブに入っている方からサポートを受けて頂きながら進める。

→一旦はこちらの担当で進めることとする。

→ファイナルを今月中に配布する。

・各役職に相談役で入っている方は長年これらの事に精通している方なので、コミュニケーションを取って頂きながら進めて頂く。

・秋祭りの実行委員会と理事会は同じ日に行うのか？

→基本的には実行委員会は理事会の前日に行う。実行委員会である程度は話をまとめて、理事会で報告をしていただく。去年は6月から実行委員会を始めたので、6月から11月までは皆さんも参加して頂きたい。

・青年部に関しては承認伺い事項がある。秋祭りの公園の予約に関して11月18日を仮抑えで手配済み。本日の承認を経て予算に計上してある1千ドルを支払いたい。

⇒承認された。

・支払いが発生した場合、予算内の場合は承認はいらぬとかある一定の金額以上は承認があるなどの決まりはあるのか？

→理事会で決めていく内容になるので今後、ひな形を作って決めることとする。

⇒青年部の予算については承認された。

・規模感については？

→去年の今頃は3年ぶりということもあり、出来るだけリスクを少なくすることで、小さい予算案で始まったが、実行員会で審議を続けていく中で、島の人からの期待も大きいこともわかり、何とか2万食の食品を準備することが出来た。今年も実行員会を進めていく中で落としどころが見えてくると思う。

→規模感については食品ブースをどれだけ出せるかなどを早めに把握することで、規模感も自ずと見えてくる。

・何をもって規模感を計るのか？

→規模感について去年並みのスポンサーシップを得ることができれば大きくやっても構わない。

→スポンサーシップの金額で規模感を計るのはわかりやすい。

・雨、台風による中止のリスクをどのように考えているのか？

→過去に一度あった。寄付金も返金している。

→去年の数字をみると6万ドルの食品費について8掛けぐらいの返金は覚悟する必要あり。

→現在、日本人会の口座残高は20万ドルの残高あり。中止になった場合は約4分の1が減ることになる。

→過去に中止になった時の赤字の数字を次回の理事会に報告して欲しい。

(教育部) 時任部長

先週の土曜日に新体制で学校理事会がスタートした。また、総会及び理事会を行った。日本人会教育部の活動計画としては、6月25日に日本人会チャリティーゴルフの開催を予定している。2024年2月4日には初めての試みで2K/5Kを開催したい。教職員オリエンテーションについては学校理事会で行うのでご報告までに記載している。

今回、教育部として行っていきたいことは、日本人会と日本人学校の関係について考えていきたい。日本人学校の手持ちキャッシュは50万ドル、今年の予算を見ると単純計算で3年後にキャッシュショート、倒産確実という数字になっている。日本人会と日本人学校というのは実は何の利害関係もない。日本人会の理事がボランティアで全経営責任をもって経営している。今後の日本人会と日本人学校の関係性について2つのパターンの考えがある。1つ目は日本人会の会則に日本人理事会が日本人学校の経営に責任をもつとの条文を加える。2つ目は今まで通り大口スポンサーとしてやっていくのか。もし今のままの状態が続けているのであれば、経営できるメンバーを集めたい。今のボランティアのままでは経営が出来ない。そこを皆さんの意見を伺いながら考えていきたい。以上。

・日本人会チャリティーゴルフについて6月25日マンガラオ GC で予定している。告知、ラッフルの賞

品集めなど早めに始める必要あり。

⇒教育部の活動計画と予算案は承認された。

(文化部)ペレズ部長

基本的には昨年までの予算を参考にして予算案を作成している。GCWC への参加について定例会への参加費用を追加している。ミーティング参加費用を1回 \$ 30 × 15、リレー・フォー・ライフへの寄付金として \$ 250、年会費として \$ 40 計上している。慰霊公園清掃について献花代として \$ 600。リレー・フォー・ライフへの寄付金 \$ 250 は GCWC の寄付金と重複しているので後ほど削除する。その他、お寿司の差し入れ代として \$ 50 を計上。ハロウィーンパレード&パーティーについてはこれまでは各ホテルさんに割引をお願いしてご迷惑をかけているので、多めに予算を計上している。アートアンドクラフトについては参加者が少ないことから開催の是非についても考えたい。また、秋祭りの後に広告協賛をお願いするのは心苦しい。知事公邸クリスマスデコレーションについては昨年度と同じように計上している。

(商工部)

昨年度と同様に計上している。

〈質疑応答〉

・慰霊公園清掃の献花代については南太平洋戦没者慰霊公園が \$ 150、メリッツやイナラハンの慰霊祭に会長が参加する際の献花代として \$ 150 × 2回を計上している。

→金額はそのまま内容を訂正する。

・ハロウィーンパレードの昼食について一人 \$ 50 については突出しているのでは？

→金額は見積もりを取っている訳ではないが、ホテルへの金銭的な負担がないようにしていきたいと思う。実際に見積もりを取った後、検討したい。

・アートアンドクラフトについて参加者から開催が決定しているのであれば、作品の制作を始めるとの声がある。このような方と早い段階でお会いして頂くのが良いと思う。

・アートアンドクラフトについて広告協賛費を集めるのが大変との事だが、秋祭りのスポンサーを集める際にアートアンドクラフトについても案内していて、秋祭りの寄付額の何パーセントはこちらの広告費に充当とするのが良いと思う。

→去年の理事会でも何度もスポンサーを企業にお願いするのは難しいという意見があり、秋祭りのスポンサーの5%をアートアンドクラフトへ充当するという意見があった。

・慰霊公園の清掃について、ピースリングさんから7月8日に日米合同慰霊祭を開催するので、その翌日の7月9日に清掃をして欲しいとの依頼がある。7月9日で検討して頂きたい。

・リレー・フォー・ライフについては7月29日が土曜日なのでその日で決定している。場所はUOG。

→ハロウィーンパレードについての費用は再度検討して頂きたい。まだ時間があるので次回の理事会に検討した案を発表して頂く。

(総務部)野口部長

4月の総会については、既に支払い済みの\$1,188 がそのまま計上されている。以前は食事を出していたが、今年からは簡便なりフレッシュメントに留めて費用を抑えている。会費については去年は\$57,000 を徴収しているが会員増を目標にして少し多めに\$63,000 を計上している。会員証発行について、去年は希望者に配布しているが4人のみの希望者であった。基本的な考え方を再検討して内容を決定して発行したい。会員名簿については2019年までは冊子を配っていたが昨年からはデータのみで作成しており、今年度も同様とする。新年祝賀会については\$2,500 を計上し、総領事館の共催金\$2,000との合計\$4,500で行っている。去年は50周年記念式典もあり、\$6,000かかっているが今回は通常にもどす。事務所経費については例年並みで計上しているが、事務局の職員さんの給料を長年据え置きで来ているので最近の物価高などから昇給を検討し、若干のオーバーの可能性はある。グループ保険の手数料について現在14人の方が加入されていてこちらの手数料として\$2,000計上している。総務部の基本的な考え方としては、ここ3年間で減少した会員数を取り戻し、通常の日本人会の業務が行えるような体制にしたい。以上。

〈質疑・応答〉

・グループ保険手数料とはどのようなものか？

→日本人会がハンドリングをしているのでそちらの手数料となっている。

・現状、どのような会員の特典があるのか？

先日まではヒルトンさんのレストランが15%割引だったが、現在はなし。

⇒総務部の予算案は承認された。

(会計部)井上部長

各部長からの予算案を取りまとめたところ、収入が\$262,300、支出が\$234,578、収支が\$27,722 のプラスになる。おそらく教育部のチャリティーゴルフの\$10,000 と秋祭りの\$25,000 のプラスは日本人学校へ寄付になるのでそちらの\$35,000 をマイナスすると合計では-\$7,278 となる。総務部の会費徴収の予算額を昨年度よりも増やしているが更なる上乘せがないとプラスにはならないと思う。

・去年の決算をみると秋祭りの収支の影響が大きい。秋祭り単体で\$68,000 の黒字になり、それを入れて最終\$54,000 の全体の黒字となっている。秋祭りがなければ赤字であり、これらから秋祭りに注力する必要がある。

・2022年度の理事会で決議された5万ドルの日本人学校への寄付については今年度の支出として計上されているので今年度は既にマイナス5万ドルからのスタートとなる。

・秋祭りの収益は全額日本人学校への寄付となるのか？

→明確な決まりはない。昨年度は決算をしめて\$54,000 黒字となったことで5万ドルを日本人会へ寄付することが決定されている。過去には赤字でも日本人学校へ寄付したこともある。その時々

会で決定している。特に現在は学校が大変な状態なので、秋祭りで利益が出なかったので寄付は出来ませんでは済ませられるのか。それはその時に決議される事項となる。

各部の報告は以上。

・去年、トルコシリア地震の寄付金を集めているが\$ 1,270 の寄付金が集まった。去年の理事会で日本赤十字社に寄付をすることが決議されているので、5月4日に寄付を行った。

(その他)

日本人会のチャリティーゴルフのフライヤー作成にあたり、去年参加された方々の写真が欲しい。

→去年の集合写真があるので送付する。

次回の理事会について通常は第3木曜日だが、秋祭りに関しては、冨江部長が不在であることから実行委員会で検討する。実行委員会の日にちは改めて青年部から報告して頂く。

→その後冨江青年部長から6月22日、15時、EY 会議室で案内あり。

以上